



令和2年12月吉日
もりのなかま保育園
病児・病後児保育室
☎ : 098-935-5327

早いもので、今年も後1ヵ月となりました。今年は新型コロナウイルスが蔓延し、大変な年となりました。また、県内では先月からRSウイルス感染症が急増しています。引き続きこまめな手洗い・うがいを徹底し、感染予防に努めましょう。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いいたします。

RSウイルス感染症

症状

4～5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などのかぜに似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。特に心肺の基礎疾患がある子は重症化しやすいので、注意が必要です。また、新生児、低出生体重児、生後6ヵ月未満の乳児も重症化しやすいと言われています。手洗い・うがい（乳児は外から帰ったら水を飲ませる）をしっかりと行い予防しましょう。

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に乳幼児の多くが感染します。

終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染すると言われているため、毎年かかる子どもも多いようです。



症状が軽い場合は、かぜを引いた時と同様、水分補給、睡眠、栄養、保温に注意し、安静にして経過を見ます。脱水気味になると、たんが粘稠になって吐き出すのが困難になるので、水分をこまめに与えましょう。

熱が出た時の お家でのケア

水分補給

湯冷まし、麦茶、子ども用イオン水、経口補水液、果汁などが適しています。子どもが進んで飲みたがる物を与えましょう。

食事

喉越しがよく、消化にいい物を与えましょう。乳児で食欲がない場合は1回の量を減らし、回数を増やして与えてみましょう。

衣服

熱の上がり始めて寒がる時は保温できる服で、熱が上がってきたら薄着に替えます。汗をかいたらこまめに取り替えます。

汗をかいたら

ぬるま湯に浸し固く絞ったタオルで体を拭いてあげましょう。汗をかいた体がさっぱりし、熱を放散させる効果もあります。

年末年始の急病は？

年末年始は、お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。

判断に迷ったら…**こども医療でんわ相談#8000**

小児科医・看護師より症状に応じた対処の仕方や病院受診の目安などアドバイスを受けられます。

病児保育室より

今年も一年間ありがとうございました。

お子様が体調を崩しお困りの際はご相談下さい。

来年もよろしくお願い致します。